

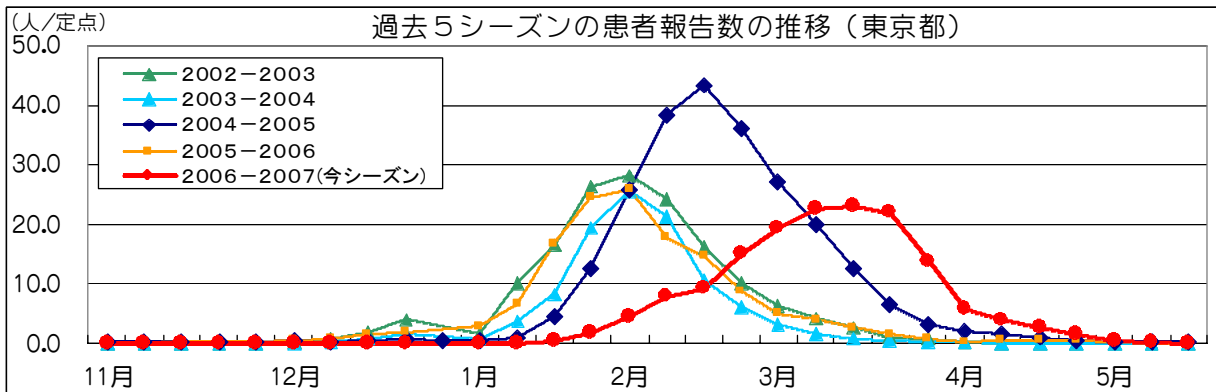
# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

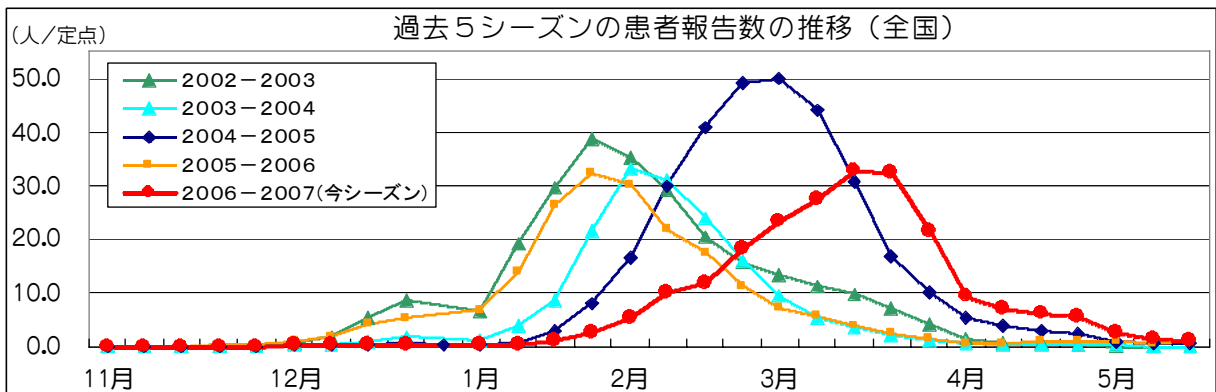
今号(第18号)のトピックス

- 第20週(5/14~20)のインフルエンザ患者報告数は 34人、定点当たり 0.12人  
(先週:同92人、0.32人、昨年同期:定点当たり 0.11人)
- 東京都の検査情報(今シーズンのまとめ)
- 年齢階級別患者報告数
- 今シーズン検出されたインフルエンザウイルスの遺伝子系統樹

## 流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



### 1 患者発生状況

インフルエンザ定点\*からの第20週(5/14~20)の患者報告数は東京都で 34人、定点当たり 0.12人です(先週:同92人、0.32人、昨年同期:定点当たり 0.11人)。全国の患者報告数は5,559人、定点当たり1.20人です。

都内で定点当たりの患者報告数が1人を超えている地域はありません。

\*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

## 2 東京都の検査情報（今シーズンのまとめ）

2007年5月20日現在の値です。

既報の情報とは一部、異なるところがあります。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

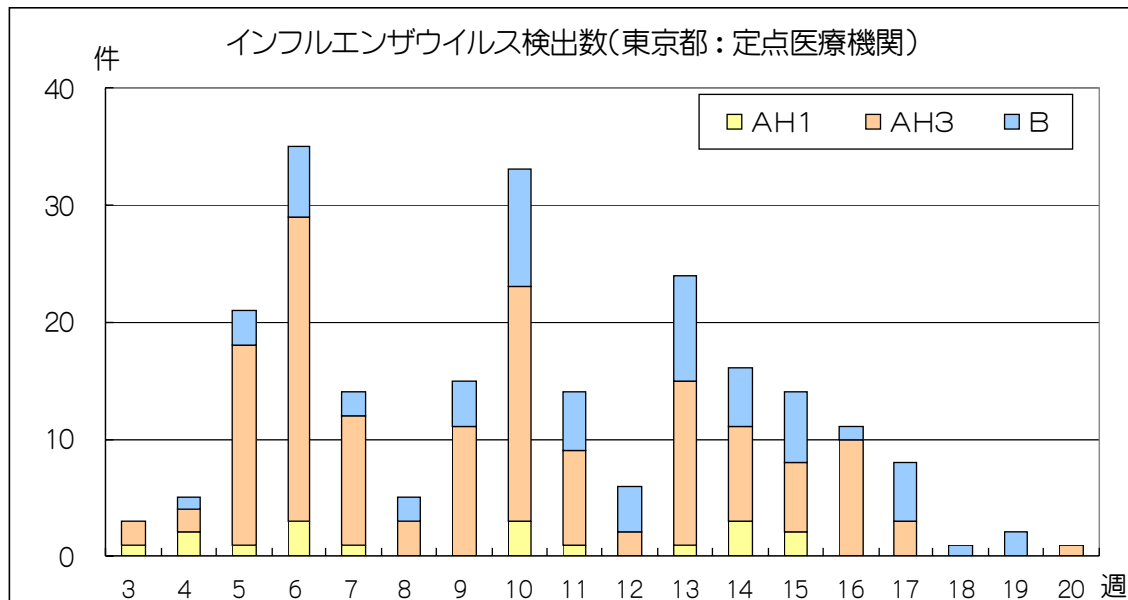
週	検体数*	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
3週 (1/15-1/21)	13	3	1	2	0
4週 (1/12-1/28)	20	5	2	2	1
5週 (1/29-2/4)	36	21	1	17	3
6週 (2/5-2/11)	51	35	3	26	6
7週 (2/12-2/18)	33	14	1	11	2
8週 (2/19-2/25)	17	5	0	3	2
9週 (2/26-3/4)	34	15	0	11	4
10週 (3/5-3/11)	61	33	3	20	10
11週 (3/12-3/18)	49	14	1	8	5
12週 (3/19-3/25)	35	6	0	2	4
13週 (3/26-4/1)	48	24	1	14	9
14週 (4/2-4/8)	32	16	3	8	5
15週 (4/9-4/15)	28	14	2	6	6
16週 (4/16-4/22)	27	11	0	10	1
17週 (4/23-4/29)	17	8	0	3	5
18週 (4/30-5/6)	3	1	0	0	1
19週 (5/7-5/13)	13	2	0	0	2
20週 (5/14-5/20)	15	1	0	1	0
合計	532	228	18	144	66

\*: 上気道炎、下気道炎などの診断名で送付された検体を含む

表2. 学校での集団発生<sup>(※)</sup>として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
1月19日	多摩小平	小学校	5	3	0	0	3
1月22日	葛飾区	中学校	2	1	0	0	1
1月22日	八王子	中学校	3	2	0	2	0
1月22日	多摩立川	小学校	4	3	0	3	0
1月23日	新宿区	中学校	5	3	0	3	0
1月24日	足立	小学校	5	5	0	0	5
1月24日	目黒区	小学校	5	3	0	3	0
1月24日	北区	小学校	3	3	0	0	3
1月25日	杉並	小学校	4	2	0	2	0
1月29日	荒川	中学校	5	5	0	0	5
1月29日	板橋区	小学校	4	4	0	4	0
1月29日	多摩府中	小学校	5	4	0	0	4
1月29日	町田	小学校	1	1	0	1	0
1月30日	練馬区	小学校	4	1	0	1	0
1月31日	江東区	幼稚園	5	5	0	5	0
1月31日	南多摩	小学校	5	3	0	3	0
2月5日	江戸川	小学校	3	3	0	0	3
2月6日	大田区	小学校	3	3	0	3	0
2月6日	世田谷	小学校	4	4	4	0	0
2月6日	池袋	中学校	4	2	0	2	0
2月7日	西多摩	中学校	3	3	0	0	3
2月14日	中野区	小学校	5	5	0	2	3
2月20日	渋谷区	小学校	4	3	0	0	3
2月27日	品川区	小学校	2	2	0	2	0
3月2日	島しょ(八丈)	小学校	3	3	0	3	0
3月6日	墨田区	小学校	3	3	0	0	3
3月8日	台東	小学校	2	1	0	0	1
3月13日	みなと	幼稚園	1	0	0	0	0
合計			102	80	4	39	37

※ 各保健所管内における初発の集団発生を検査対象とした。



定点医療機関からインフルエンザや上気道炎、下気道炎などの診断名で、当センターに搬入された検体532件についてウイルス検査を実施した結果、228件からインフルエンザ

ウイルスが検出されました(表1)。この228件の内訳は、AH1亜型18件、AH3亜型144件、B型66件でした。

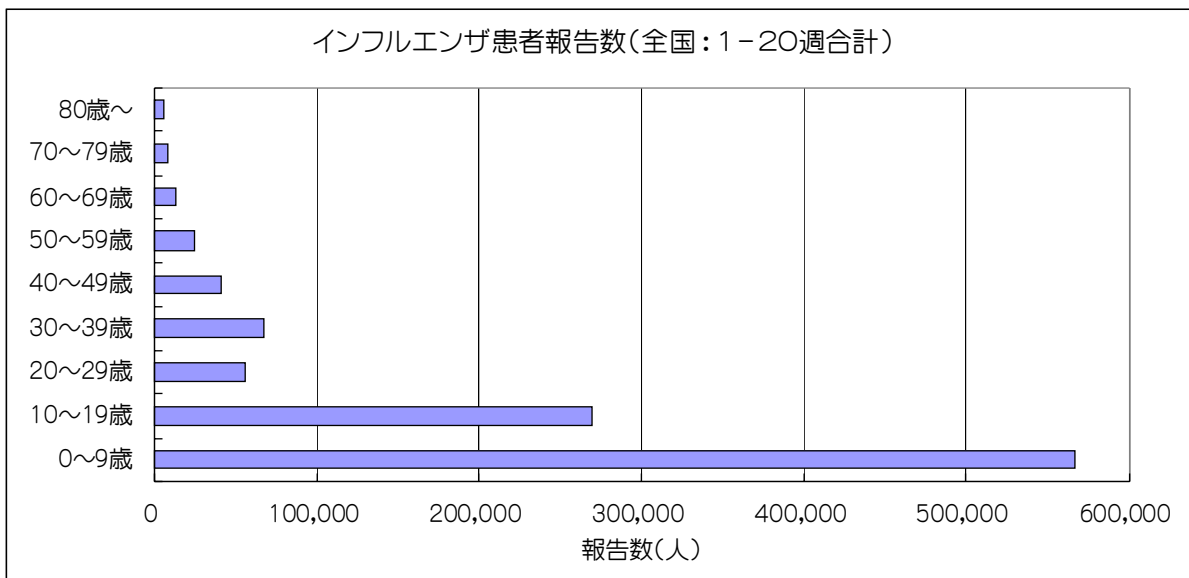
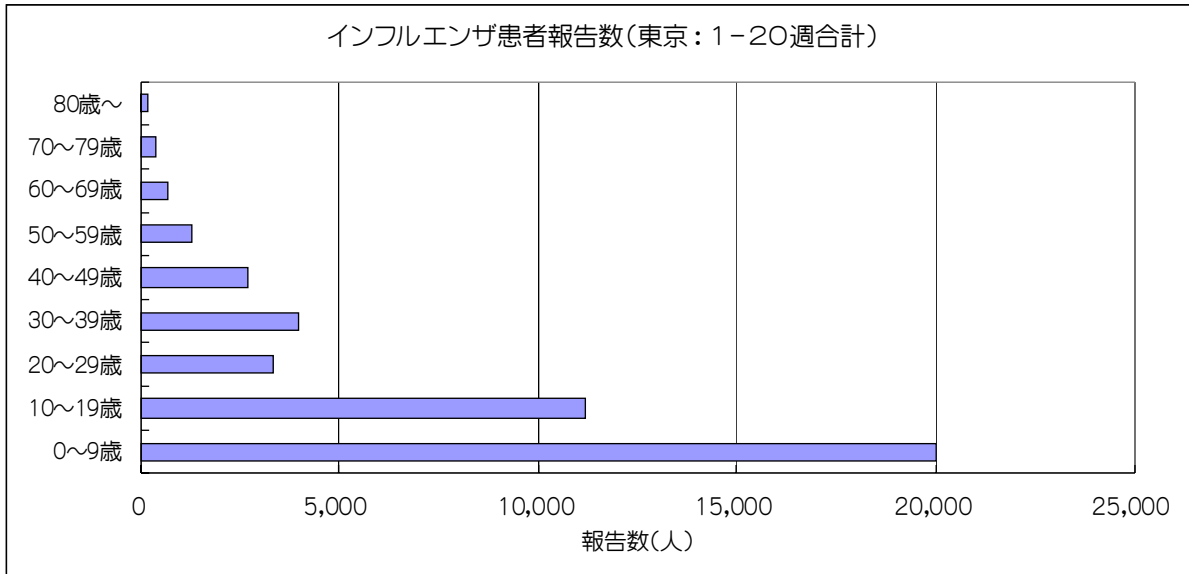
今シーズンは、都内28地区から小学校等に

おける集団発生（学級閉鎖）の検体として、合計102件が当センターに搬入されました。これらの検体についてウイルス検査を実施したところ、80件からインフルエンザウイルスが検出されました（表2）。この80件の内訳は、A H 1 亜型4件、A H 3 亜型39件、B型

37件でした。

前ページに定点医療機関から搬入された検体からのウイルス検出状況を週別に示しました。2007年第3週にA H 3 亜型が検出されて以来、第20週まで概ねA H 3 亜型が他の型に比して多く検出されていました。

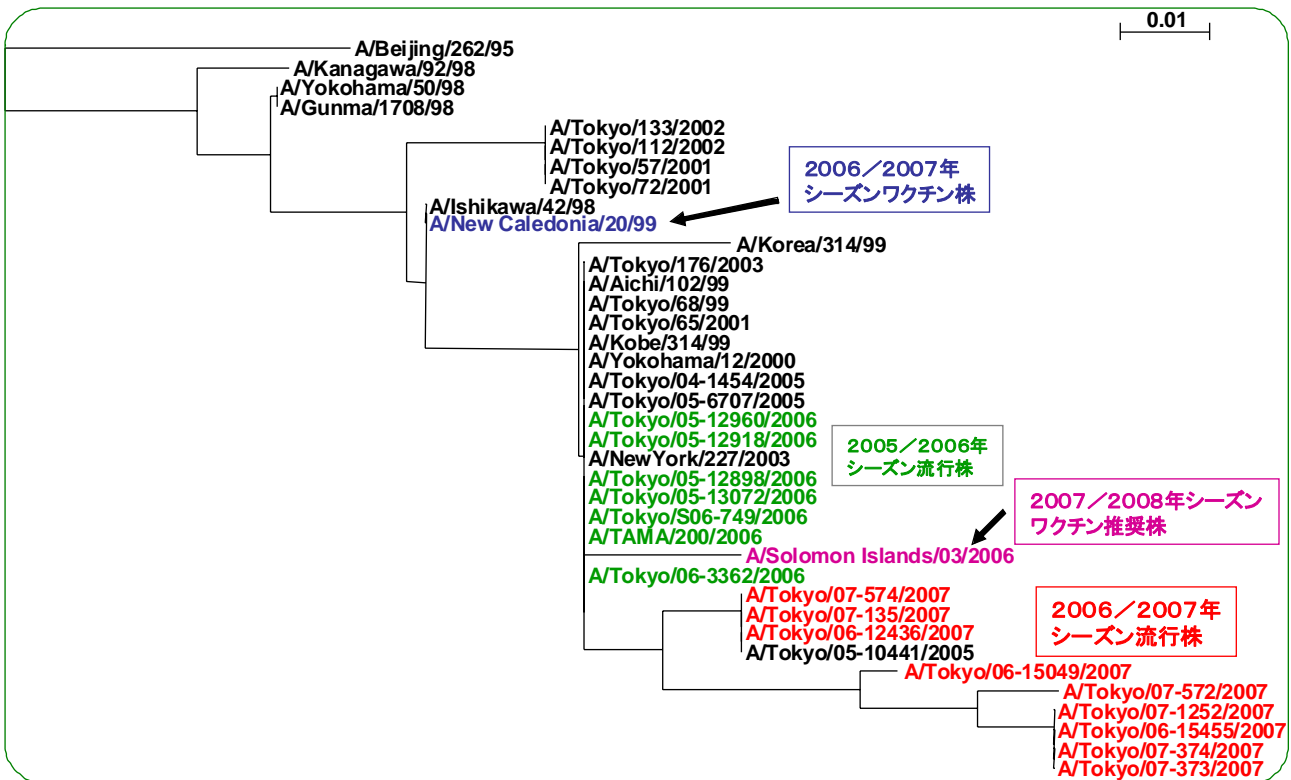
### 3 年齢階級別患者報告数



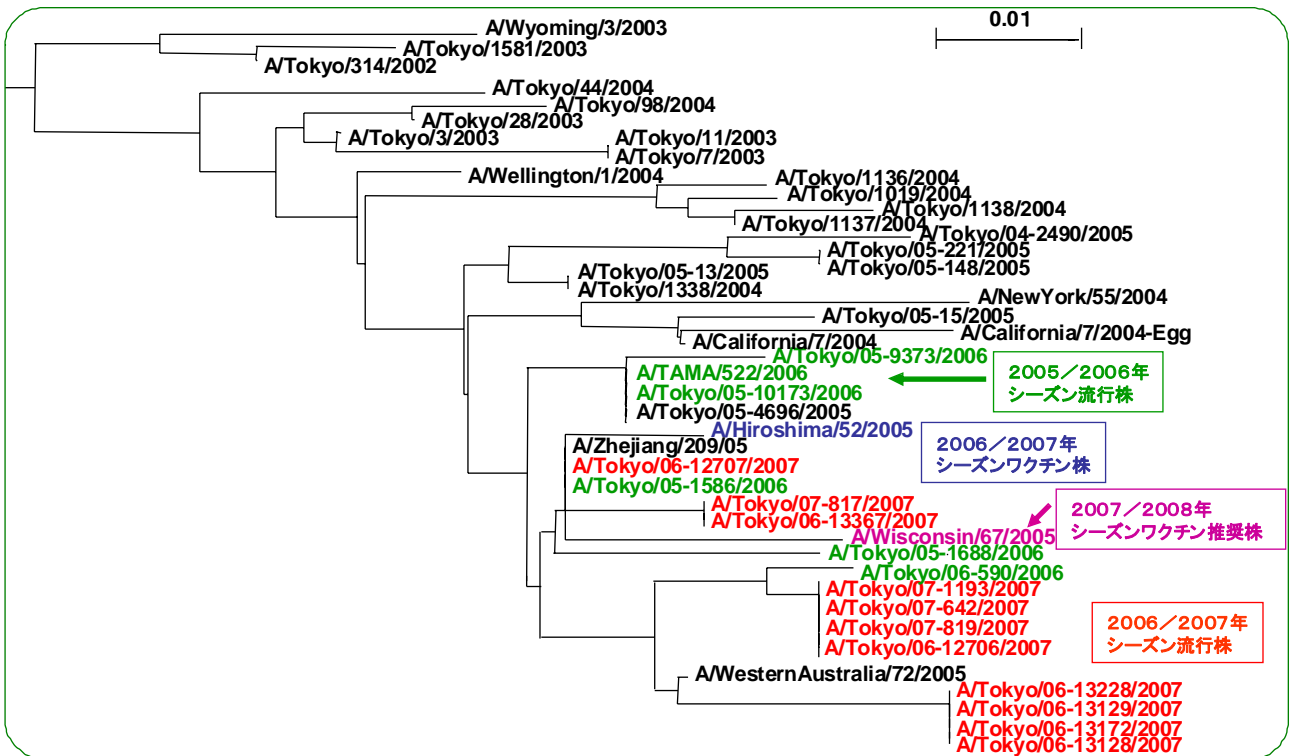
今シーズンの定点医療機関からのインフルエンザの流行規模は過去10年間で4位となり、中規模の流行となりました。患者報告数を年齢階級別にまとめると上図のようになります。

小児科が大部分を占めるインフルエンザ定点からの報告であるため、東京都では、0～9歳の年齢域の患者報告数が全体の約46%を占め、全国でのそれは54%になっています。

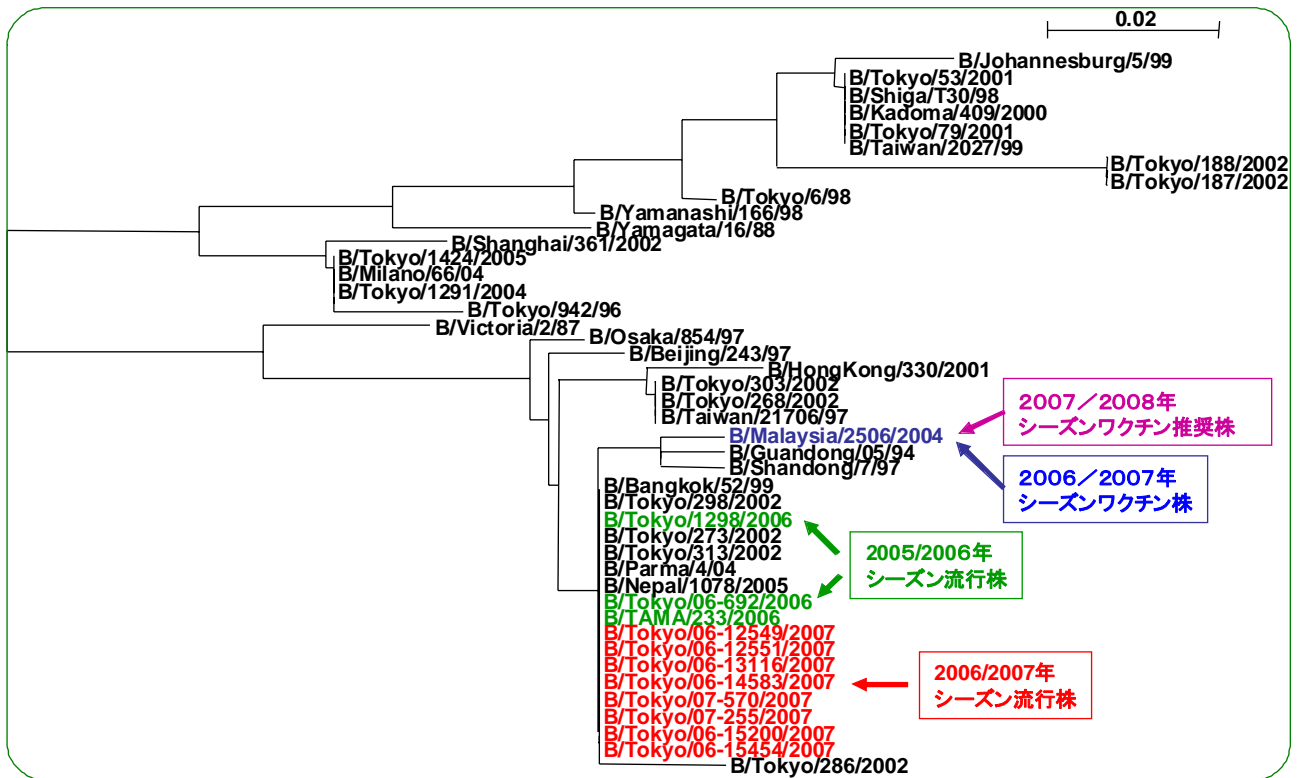
4 今シーズン検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹（東京都）



東京都におけるA H 1 亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹



東京都におけるA H 3 亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹



東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

2006/2007年シーズンに検出されたインフルエンザウイルスHA遺伝子の一部を Dye terminator cycle sequencing 法を用いたダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、アミノ酸に変換後、過去に検出されたウイルス遺伝子のアミノ酸配列と共に系統樹を作成しました。

その結果、B型は2005/2006年シーズンと同様の株が、A/H3亜型については、昨シーズン流行株とは若干異なる傾向が認められるものの、今シーズンワクチン近縁株を含んだ群に含まれることが判りました。また、A/H1亜型は、昨シーズンと異なった株であることが判りました。

この号が今シーズンの最終号となります。来シーズンは11月上旬頃から発行する予定です。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行  
東京都健康安全研究センター  
微生物部疫学情報室  
〒169-0073  
東京都新宿区百人町3-24-1  
TEL: 03-3363-3213  
FAX: 03-5332-7365  
idsc@tokyo-eiken.go.jp  
http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/



古紙配合率70%再生紙を使用しています